



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）11月25日号 No. 1612

## 目次

■ロシア消費財市場と決算書の留意点 .....	菅原信夫・上村雅幸 1
■エトセトラ .....	10
『調査月報』2013年12月号のお知らせ／10	
■トピックス .....	11
日露エネルギー・環境対話イン新潟が開催／11	
北海道・サハリン州両知事が会談／11	
ロシアWTO加盟に対する中小企業の評価／11	

## ロシア消費財市場と決算書の留意点

### はじめに

2000年以降のロシアにおける消費財市場の活況は、同国消費者の「メイド・イン・ジャパン」に対する厚い信望を喚起した。しかし、いわゆる「消費ブーム」が始まって十余年を経た現在、これまで大きく伸びた日本の消費財に陰りが見えるとともに、情報産業系企業の進出が目立つようになっている。また、ロシア進出日本企業の本社からは現地法人の作成する決算書の内容がよくわからないという声や、ロシアのWTO加盟に伴う駐在員事務所での入国管理、税務、労務などに関する当局の対応についての質問も増えている。そこで当会は10月23日に当会会議室において表題のメンバーズ・ブリーフを開催した。同ブリーフでは、スガハラアソシエーツ代表取締役の菅原信夫氏、ミナト国際コンサルティング代表取締役の上村雅幸氏、同ロシア法人代表のアンドレイ・ムサエフ（Andrei Musaev）氏より、ロシアにおける日本企業の動向を様々な角度からフォーカスして報告いただいた。今号ではその概要を紹介する。